

住民説明会（7月15日）におけるご説明概要

【JCO】

1. 将来計画について

弊社は、1999年の臨界事故後、主に旧加工施設の維持管理と保管廃棄物（放射性固体廃棄物）の点検・整備に取り組んでおります。

放射性固体廃棄物の処理処分に関しましては、国レベルの検討が徐々に進んでいます。このため、2012年度に弊社が管理している原子力施設の撤去、整備に関する基本計画（将来事業計画）を策定し、順次進めて参りました。

今後も同計画に沿った活動を行なって参ります。

2. 2022年度年間事業計画について

弊社の将来事業計画を踏まえ、本年度は主に以下の事業を計画しております。

① 保管廃棄物の管理、施設の保守管理

例年通り、保管廃棄物の管理、施設の保守管理を、安全最優先で行ないます。

② 第1管理棟、第2管理棟の旧加工設備の撤去工事

タンク・配管等を撤去しドラム缶に密充填する工事を継続します。

③ 第1管理棟、第2管理棟の管理区域解除工事

並行して行なっている管理区域解除のための工事を継続します。

④ 第3管理棟、第5管理棟の管理区域解除工事の準備

管理区域解除工事に係る使用変更許可申請（2023年度）の準備を行ないます。

⑤ ウラン回収処理海外委託（搬出・輸送）

2016年より、ウラン回収処理が可能であることが判明したウランを含む残渣（ウラン残渣）及びウランが付着している金属（ウラン付着金属）について、海外でウラン回収処理を行なっております。本年もこのウラン回収処理のための搬出・輸送を継続します。

【住友金属鉱山】

試験棟の解体撤去工事完了について

原子力規制委員会からの廃止措置終了確認書を2019年10月23日付で受領し、試験棟は原子力事業施設ではなく一般建屋となりました。

さらに同建屋の使用用途がないことから、2021年10月から2022年4月にかけて建物を解体し、撤去する工事を行ない、無事完了しました。

以上